

研究協力をお願い

札幌孝仁会記念病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

課題名

急性僧帽弁閉鎖不全患者の治療選択における意思決定支援

1. 研究の対象および研究対象期間

対象: 急性僧帽弁閉鎖不全患者 A 氏および治療選択の意思決定に関与した家族等を対象とする。

対象期間: 2024 年 7 月～2024 年 9 月

2. 研究目的・方法

目的

急性僧帽弁閉鎖不全患者 1 事例に対する治療選択の意思決定支援プロセスを整理し、慢性 CNS の役割と介入の実際を可視化して報告する。

方法

本研究は急性僧帽弁閉鎖不全患者 1 名を対象とした後方視的実践報告です。新たな介入は行わず、2024 年 7 月～2024 年 9 月診療録・看護記録・カンファレンス記録等の既存情報を用い、治療選択（手術・術式・治療方針）に関する意思決定支援の経過を整理・記述する。分析は慢性 CNS2 名で実施し、氏名・イニシャル・住所等の個人情報を使用せず、特定されない範囲で属性を記載し、患者・家族の尊厳に配慮して価値判断的な表現を避けます。

研究期間

倫理審査承認後病院長許可日～2026 年 2 月（予定）

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録・看護記録

- ・入院中の経過、症状、治療内容
- ・CNS、病棟看護師、医師による記録
- ・意思決定に関する記録

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：社会医療法人孝仁会 札幌孝仁会記念病院 医療連携相談部 氏名：新屋理良

住所：063-0052 札幌市西区宮の沢 2 条 1 丁目 16-1 電話番号：011-665-0020

研究責任者：

所属：社会医療法人孝仁会 札幌孝仁会記念病院 医療連携相談部課長 研究責任者：新屋理良

その他、本研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反（conflict of interest）はありません。